

活動の名称	SDGsイベント「ハチドリフェス」の開催
概要	SDGsの年限である2030年まで残り数年となったが、ゴール達成にはまだまだ課題が山積している。「見る」「聞く」「体験する」「楽しむ」を通じて「SDGs未来都市」である富士市民に今一度「自分ごと」として捉えてもらい、持続可能な社会の実現の一助としたい。

SDG s との関係

経済側面	働きがいも 経済成長も	産業と技術革新の 基盤をつくろう	人や国の 不平等をなくそう	つくる責任 つかう責任
	○ 	○ 	○ 	○ 
社会側面	貧困をなくそう	飢餓をゼロに	すべての人に 健康と福祉を	質の高い教育を みんなに
	○ 	— 	○ 	○ 
	ジェンダー平等を 実現しよう	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	住み続けられる まちづくりを	平和と公正を 全ての人に
	○ 	— 	○ 	○ 
環境側面	安全な水とトイレを 世界中に	気候変動に 具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさも 守ろう
	— 	— 	○ 	— 

産業、社会、環境の三側面との関係

産業	企業PRブースを設置し、市内外の企業の取り組みを多くの人に知ってもらい、さらに企業同士のマッチングや新事業のきっかけづくり、雇用拡大に繋がることが期待される。
社会	講演や疑似体験により自身の視野を広げ、自分にもできることがあるということを感じてもらうことを目標としている。
環境	飲食ブースにゴミステーションを設置し、自身でゴミの分別をしてもらうことでSDGsを身近に感じてもらうことを目標にしている。

事業計画

活動の現状	現在、2030SDGs公認ファシリテーターとして、市内の小中学校でSDGs教育に取り組んでいる。SDGs普及活動の中で学生社会起業家や車椅子着付け師と出会い、知るだけでなく行動に繋がるきっかけを作りたいと考え、「見る」「聞く」「体験する」イベントを企画した。
普及計画	学生社会起業家の講演では実際にSDGsに取り組んでいる方の生の声を聞いてもらう。車椅子着付けのファッションショーと疑似体験コーナーでは、ダイバーシティ＆インクルージョンな社会を意識してもらう。企業ブースと学校の取り組み紹介では市民のSDGsへの意識の向上に繋げる。SDGsワークショップと飲食スペース（ゴミステーション）、SDGsマルシェではSDGsを体感してもらう。警察・消防に協力を仰ぎ、安心安全なまちづくりをめざす。おこさまサロンを設置し、ベビーファーストなイベントにする。
目標	令和6年3月16日（土）にイベントを開催 学生社会起業家の講演：聴講者数100人 車椅子着付けのファッションショー：観客数70人 企業PRブース：20社出展 イベント全体の来場者数：1000人
想定効果	2030年までに市民の環境や社会に対する意識を高め、ダイバーシティ＆インクルージョンなまちづくりを目指す。企業がSDGsに積極的に取り組むことで市外へのPRにつなげ、経済の活性、雇用の拡大、移住促進を目指す。

スケジュール

	旬・日	実施事項
8月		
9月		
10月		
11月		
12月	上旬	SNSアカウント開設
		講師依頼
	中旬	チラシ入稿
		警察・消防出演依頼
		学校取り組み紹介依頼
		ワークショップ依頼
	下旬	企業ブース・飲食・マルシェ募集開始
1月	上旬	スタッフミーティング
	中旬	チラシ・ポスターでの広報活動
		講師打ち合わせ
	下旬	企業ブース・飲食・マルシェ募集締め切り（抽選）
2月	上旬	ラジオ・SNSでの広報活動
		場内パネル発注
		スタッフミーティング
		ノベルティ・景品発注
3月	上旬	スタッフミーティング
	16日	ハチドリフェス開催